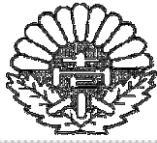


2022年度



吉小だより

吉分小学校
〒630-0222
生駒市吉分町 356-1
TEL : 0743-76-8615

2022年度も残すところ、あとわずかとなりました。

児童、保護者の皆様へのアンケート調査結果、学校運営協議会委員の皆様による学校関係者評価を踏まえ、以下のような形で今年度の学校評価をまとめ、次年度への課題を整理させていただきました。

4月からは、この課題を改善するための具体策に取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



☆ 学力向上の推進 ～自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成～ について

児童アンケート

- ・ 93%の児童が「授業は分かりやすい」と回答。
- ・ 79%の児童が「国語の時間に、文章を読んで思ったことをクラスの友達と伝え合うことはできた」と回答。

保護者アンケート

- ・ 76%の保護者が「学校は、ICT機器の活用等の工夫をし、わかる授業づくりを通して、子どもの学ぶ意欲や確かな学力の育成に取り組んでいる」と回答。
- ・ 82%の保護者が「子どもは、授業を通して、自分の思いや考えを伝えられるようになってきている」と回答。

学校運営協議会では、

学力とは何かをきちんと定義しないと親の受け取り方が変わる。質問の仕方次第で、ICTはツールなのに、それを活用することが目的と感じてしまうと、設問に対してご指摘を受けました。

また、体験的な活動も、教育活動の中にきちんと位置付けてもらいたいとのご意見をいただきました。

- 児童に付けたい学力とはどのようなものかを地域、保護者と共有した上で、引き続き「わかる授業づくり」を進めます。

☆ 規範意識向上の推進 ～規律ある行動ができる子どもの育成～ について

児童アンケート

- ・ 77%の児童が「ろうかを走らずに歩いている」と回答。
- ・ 86%の児童が「すすんであいさつをしている」と回答。
- ・ 94%の児童が「そうじ時間はいっしょうけんめいそうじをしている」と回答。

保護者アンケート

- ・ 76%の保護者が「学校は、校内環境の安全に留意し、子どもが安心して学校生活を送れるように組んでいる」と回答。
- ・ 92%の保護者が「子どもは、学校の生活や行事等を通して、仲間を大切にし、お互いを高め合う力が育ってきている」と回答。

学校運営協議会では、

これまで熟議を重ね、地域と学校で「あいさつのできる子」を念頭に入れた取組を進めてきた。その成果があらわれてきているように思うとのご意見をいただきました。

- 規範意識向上の推進においては、より一層の協働活動を進める中で、「あいさつのできる子」の育成を常に念頭に入れて取組を進めます。

☆ 集団作り、居場所づくりの推進 ～仲間とともに支え合い、ともに伸びる子どもの育成～ について

児童アンケート

- ・ 90%の児童が「学校は楽しい」と回答。

- ・92%の児童が「友だちとなかよく協力して学校生活をおくれている」と回答。
- ・93%の児童が「学校でいのちの大切さを学んでいる」と回答。
- ・82%の保護者が、「学校は、子ども一人一人を大切に、学校内における子どもの居場所づくりに取り組んでいる」と回答。
- ・95%の保護者が「子どもは、学習や行事など様々な教育活動を通して、学校生活を楽しく送っている」と回答。

保護者アンケート

学校運営協議会では、 個を重んじることも大事である。その上で全体としての方向性をしっかりとしていけばよいのではないか

- 集団作り、居場所づくりの推進においては、学校の中に児童一人一人が安心して学校生活を送ることができる場所を作ることはもちろんのこと、不登校児童への対応力をより高めるために、施設整備はもとより、指導体制や指導方法についてより良い形のことを構築していきます。

☆ 体力向上の推進 ～楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む態度の育成～ について

児童アンケート

- ・91%の児童が「体育などで、運動することは楽しい」と回答。
- ・75%の児童が「休み時間に外で元気に遊んでいる」と回答。

保護者アンケート

- ・89%の保護者が「学校は、体育の授業や外遊び、行事等を通して、子どもの体力向上に取り組んでいる」と回答。
- ・90%の保護者が「子どもは、楽しみながら、運動したり、体を動かして遊んだりしている」と回答。

学校運営協議会では、

地域の中で、児童は元気に健やかに育ってくれている。「冬の子どもフェスタ」に参加してくれた児童もとても楽しそうに活動してくれていたとのご意見をいただきました。

- 体力向上の推進においては、「外遊び、みんなでチャレンジ」を紹介するなど様々な働きかけを通して児童の意欲を高め、体力を高めるための取組を進めます。

☆ 地域と共にある、開かれた学校づくりについて

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

- ・62%の児童が「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答。
- ・59%の児童が「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答。

保護者アンケート

- ・80%の保護者が「学校は、保護者や地域と連携し、『地域と共にある、開かれた学校づくり』に取り組んでいる」と回答。
- ・94%の保護者が、「学校は、ホームページやツイッター・学校だより・学年通信・懇談会等を通じて、教育活動や子どもたちの様子を伝えている」と回答。

学校運営協議会では、

学校で学んだ学力、地域で学んだ学力、このどちらも大切で、壱分小学校区ではともに育むことができている。
次年度のグランドデザインを作成する際には、「あいさつのできる子」を念頭に入れて作成にあたってほしいとのご意見をいただきました。

- 地域と共にある、開かれた学校づくりにおいては、これまで教育活動のスポット、スポットで地域人材との協働活動を進めていますが、地域とより綿密な情報共有を行い、児童の安全より担保し、より充実した活動を保障するための人材確保を進めます。